

東京都リハビリテーション病院

ほっとりハ

vol. 35

新春号
2022年1月



院長のご近所探訪

～弘福寺編～

隅田川七福神のひとつ、布袋尊を祀る禅宗(黄檗宗)の寺院です。境内には風邪除けのご利益があるという「咳の爺婆尊」があります。風邪を引きやすい今の季節、そして引き続き新型コロナに對し身を引き締めて臨まねばならない現在、お参りするにはびつたりの場所ではないでしょうか？



年頭所感



新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年夏には変異したデルタ株による第5波が襲来し、感染ピーク時にはわが国の医療提供体制も危機的状況となり、入院できずに自宅で死亡した患者さんも数多くみられました。いたるところでクラスターが発生し、飲食店の営業自粛や在宅勤務などにより社会生活・経済活動が甚大な影響を受けました。しかし10月頃からワクチン接種の効果もあり、急激に感染者が減少し、社会・経済活動も回復してきました。しかし海外とくに欧米や韓国ではブレークスルー感染者の急激な増加を認めており、わが国もまだまだ油断できない状況です。これから寒い冬に入りコロナ感染に加えて季節性インフルエンザの流行にも注意が必要ですし、1月以降には職員への3回目のコロナワクチン接種を予定しています。

当院では現在、新型コロナ対策会議を隔週で開催しており、全職員に院内感染予防対策の周知徹底を図っています。幸い当院では患者さん、常勤職員にコロナ感染者は発生しておりません。これもひとえに職員ならびにご家族の皆様のご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。ひきつづき三密の回避、マスク着用、手指消毒など

の感染予防にご協力をお願いいたします。

昨年10月下旬から12月中旬まで病院の老朽化に伴う汚水・雑排水管緊急更新工事を行いました。院内2棟を交代で閉鎖せざるを得ない状況となり、皆様には多大なるご不便、ご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。また、長期間にわたりご家族の皆様にはご不便をおかけしましたが、昨年11月からオンラインではなく対面での予約面会を開始しました。ワクチン接種済みの条件付きではありますが、感染状況をみながら随時拡大していく予定です。

また、本年2月には病院機能評価審査を受審予定であり、現在職員一同で準備を進めているところです。審査は日本医療機能評価機構による第三者の評価であり、病院活動が組織的に実践されているかどうかを体系的・包括的に点検することに意義があります。なお、認定後もひきつづき継続的な病院の質改善に取り組むことが重要と考えています。

当院は東京都が設置した病院ですので、われわれには都民の皆様には質の高いリハビリテーション医療を提供する責務があります。したがってひきつづきコロナ感染に十分に留意して粛々と医療活動に邁進していく所存です。

今年一年がどうか平穏な年になりますよう、祈念申し上げます。

院長 新井康久

運営理念

リハビリテーションを通して患者さんが生きる喜びと希望を抱き、充実した人生をおくられるよう、医の原点に立った心温まる医療を提供し、福祉・介護との連携推進をはかる。



言語聴覚士 (ST) の仕事紹介 『聴力検査』

リハビリテーション部 言語療法・心理部門 主任 **井上 裕之**
 主任 **関 友絵**

STの仕事って…

STは失語症や構音障害といったコミュニケーション障害や、摂食嚥下障害に携わるリハビリ職です。コミュニケーションに支障が出る要因の一つに難聴があり、難聴の有無を調べる聴力検査を行うこともSTの仕事の一つに挙げられます。

聴力が低下していると、呼びかけや会話時の声が聞き取りにくくなり、コミュニケーションに支障を来たします。難聴の原因は様々ですが、後天的な原因として頻度が高いと言われているのは加齢による聴力の衰え（加齢性難聴）です。そのほかにも、脳腫瘍や頭部外傷、薬の副作用など多岐にわたります。難聴の重症度は様々なので、その程度を測るために聴力検査を行います。

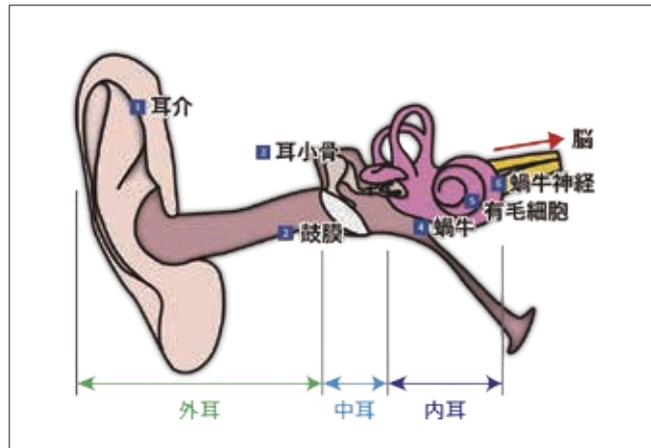
聴力検査とは

聴力検査をすることで、どのくらい小さな音まで聞けるかを測定することができます。検査方法には色々な種類がありますが、当院で主に行うのは『標準純音聴力検査』という最も基本的な検査方法です。標準純音聴力検査では、気導聴力と骨導聴力を測定することができます。気導は外耳道→鼓膜、耳小骨（中耳）→内耳に音が

伝わり、骨導は骨を伝わって直接内耳に音が伝わり、というように気導と骨導とでは音の伝わるルートが違います。聴こえが悪い場合、音の伝わるルートのどこにトラブルが起こったのか知ることが重要なことであるため、気導聴力と骨導聴力の両方を調べます。

当院では「聞こえにくい」「耳鳴りがする」といった患者さんの訴えや、「何度も聞き返される」「話が伝わらない」というスタッフからの相談をきっかけに耳鼻科受診に至る場合があります。耳鼻科医より依頼があった場合に当院ではSTが聴力検査を行っています。聴力検査の件数は、直近5年でみると、平均して年10件前後です。件数は少ないものの、患者さんやスタッフの声に答え、情報提供を行うために重要な仕事です。当院はリハビリテーション専門病院のため、補聴器を作るための検査は行っていません。しかし、難聴の有無や程度がわかることで、患者さんへの関わり方を考えることができます。結果をもとに、患者さんに対するコミュニケーション上の配慮をスタッフ間で共有することができ、患者さんをもつ入院生活の不安を少しでも解消するお手伝いができます。

もし、身近な方で「聞き間違うな」「話が食い違うな」など、コミュニケーションに支障を感じる方がいらしたら、聴力低下が原因の可能性もあるので、耳鼻科受診を検討してもよいかもしれません。



看護部の取組み Vol.17 ～あれ&これ～ご紹介



病棟看護師も大奮闘 ～汚水・雑排水管の緊急更新工事をしました!!～

当院は平成2年にオープンし、32年目を迎えました。建物は年々劣化しますが、見た目だけでなく内面も劣化・汚染します。院内はたびたび漏水があり、それに加え水害が頻発する昨今、大雨や台風の際は排水がうまくいかず漏水被害が多くなっています。

昨年、排水管調査の予算が計上されたので、今年になり排水管の内部を調査しました。

人間と同じように内視鏡を使って調査をしたところ、排水管の内部が動脈硬化のように堆積物が貯まって狭窄していたり、ポリープのように堆積物が突出していたりと悲惨な状況が分かりました。そこで、東京都により汚水・雑排水管の緊急更新工事を行うことになりました。何しろ、大規模漏水が発生したら大変なことになりますから。

去る9月9日に「汚水・雑排水管の緊急更新工事」の実施について事務長から説明がありました。6階病棟と5階病棟の排水管の劣化が激しく、工事は天井からアプローチするので、5階病棟、4S病棟を一次閉鎖して工事を行うとのことでした。工事は10月中旬から開始したいとのこと、病棟を閉鎖しての工事は初めてのことでした。

時間が無いし、さあ大変!! 患者さんはどうするの？

病棟の物品はどうするの？職員はどうなるの？など課題がたくさん。そこで毎週木曜日に各部門の責任者が集まり打ち合わせをしました。病棟では患者さんの安全を第一に考え、工事に関する説明文書を作成し、患者さんご家族に個別に看護師長から丁寧に説明をしました。患者さんからは「わかったよ。大変だね。」とご理解・ご協力をいただきました。そして、5階病棟の患者さんは3日間かけて一旦、4S病棟へ移動していただきました。約3週間の工事は予定どおりに終了し、今度は4S病棟を閉鎖するので、4S病棟から5階病棟に移動していただきました。

5階病棟に入院していた患者さんは久しぶりに戻り「きれいになって気持ちがいいね。」と話されていました。実は排水管更新工事だけでなく、病室の壁紙の張り替えやフローリング床の張り替えなども行ないました。漏水で腐っている床もありましたから。さらに浴室のカビ取りもしました。病棟を閉鎖したので一気にたくさんの改修工事ができ気持ちの良い療養環境になりました。

看護職員には他の病棟に応援勤務をしてもらいましたが、職員交流の機会となり良かったようです。さあ、これからの課題はきれいになった病棟にたくさんの患者さんに入院していただくことです!!

5階病棟 看護師長 梁清姫





患者さんからの「声」を

当院では、患者さんからの『声』を聞く取り組みとして、各階に設置してある「皆様の声」(ご意見箱)や「退院時アンケート」などによりご意見やご指摘を伺い、全職員で情報の共有を行っています。

今後とも、患者さんから寄せられた『声』を踏まえ、患者サービスの質の確保と向上に努めてまいります。



Wi-Fiを
1階以外にも
入れてほしい!



病院内のほとんどの場所でWi-Fiを使えるようになりました

(2016年4月、2021年11月)

院内に
ATMが
ほしい!

テレビカード
が視聴できる
時間の割に
高すぎる!



10時間
視聴

25時間
視聴

料金を大幅に改定いたしました
なお、冷蔵庫は無料です

(2020年4月)

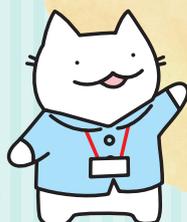
テレビカードの
自動販売機の
横に両替機が
ほしい

形にしました!

皆様からの声に対する回答を掲示しています



退院時アンケートボックス



なお、エレベータやトイレの増設などのご要望も多くいただいているところですが、建物の構造上、改築や増築などが困難です。

しかし、エレベータの使用時間帯をリハビリ専用とするなど、今後とも工夫や配慮などに努力いたします。



1階にATMを設置しました

(2015年9月)

売店は
広い方が
いいと思う



1階にコンビニショップがオープンしました
入り口、店内共に車椅子でのご利用もしやすくなっています

(2021年4月)



両替機を設置しました

(2020年4月)

車椅子でも
買いやすい
自動販売機
がほしい!



車椅子でもご利用しやすい自動販売機を設置しました

(2016年4月、2020年4月)



医療福祉連携室だより



サービス提供体制強化加算

介護保険の訪問リハビリテーションサービスの一つに、「サービス提供体制強化加算」というものがあります。この加算は、より長い勤続年数を有する「ベテラン療法士」が訪問リハビリテーションにあたることに対する加算です。

旧制度では、訪問リハを提供する療法士（理学療法士／作業療法士／言語聴覚士）に、勤続3年以上のものが1名以上いると6単位の加算がありましたが、令和3年度の介護報酬改定後は、勤続3年以上のものが1名以上いる場合は3単位の加算、勤続7年以上のものが1名以上いる場合は6単位の加算となりました。国の制度としてもベテラン療法士の所属がより重視されております。

当院の地域リハビリテーション推進科（訪問リハビリテーション事業所）には、理学療法士1名（10年目）、作業療法士4名（27年目／20年目／9年目／6年目）が在籍しており、加算の取得要件に達しているものが多数おります。

ベテラン療法士は、医療や介護の知識が豊富で、疾患から注意すべきポイントを見極め、生活機能障害を予測することができます。機能訓練や生活の工夫、福祉用具の導入、介助方法など自立支援を促す関わりは、利用者さんの二次的障害を早期に防ぎ、介護の負担軽減に繋げることができます。

また、利用者さんのモチベーションを引き出しながらリハビリテーションを行います。生活しにくい状態で長く在宅生活を送っている方や退院後間もない方などは、自分らしい生活を送れずに自信を失っている方が多いです。その方の「やる気」を引き出

すための声掛けや場の作り方を工夫し、当人が向かうべき方向（目標の明確化）を指し示し、一緒に進む姿勢を心がけています。

さらに、場に合わせたリハビリテーションも実施します。自宅環境はもとより、自宅周辺や通所施設、仕事場など様々な場に適した支援を展開し、家族や支援者、友人などにも支援の術を伝え、本人の生活全体のコーディネートも行います。支援者に支援の技術を伝えていくことは、多職種連携にも繋がります。利用者さんの目標に向け、課題や強みから、どういった方法で支援をしていけばいいのか、各職種における対処方法を伝えることは、コミュニケーションのスキルが必要になります。

訪問リハビリテーションは在宅生活の場で実施する特性上、本人への直接的な支援だけでなく、専門性を生かしながら家族やほかの支援者をエンパワメントするような間接的な支援も大切です。患者さんを含む環境も考慮した包括的な支援を心がけております。

当院の訪問リハビリテーション事業所では、経験豊富な療法士が在籍している特徴を活かし、墨田区・江東区・江戸川区において、自立支援・重度化防止に向けた効果的な訪問リハビリテーションを実践しております。

医療福祉連携室 地域リハビリテーション推進科
作業療法士 坂直樹

島しょリハビリテーション事業について 御蔵島へのPT派遣

理学療法科 科長代行 水口 健一

当院理学療法科では、平成19年度から御蔵島村からの依頼により、年4回、2泊3日、理学療法士（PT）を派遣しリハビリテーション事業を行っております。御蔵島は東京から200km南に位置し伊豆諸島にある人口306人（男性165人女性141人）の小規模離島です。令和3年10月における65歳以上の人口は56名（後期高齢者は19名）、高齢化率は18%、介護保険認定者は8名です。

医療福祉施設には、村診療所に医師1名、看護師2名、福祉保健センターにスタッフ6名が勤務しています。

派遣での活動内容は、痛みや運動機能の低下のある島民の方に、機能構造、活動を評価し運動や日常生活での注意点を個別に指導します。訪問では、家族や診療所スタッフ、福祉保健センターのスタッフも含めて環境調整や介助指導を実施しています。またデイサービスでの集団体操プログラや個々の自立生活維持・活動向上や運動機能向上に向けたプログラムを立案、継続し介護予防を推進しています。

派遣活動スケジュール

1日目

7:30 羽田発八丈島行き、八丈島空港到着

八丈島発ヘリコプターにて御蔵島へ

10:50 御蔵島到着後村役場で打ち合わせ

13:00~17:00

診療所、保健福祉センターにて相談指導

2日目

9:00~17:00

個別相談指導、訪問指導

診療所、保健福祉センタースタッフとカンファレンス

3日目

9:00~10:00

個別訪問指導や運動教室など

10:55 御蔵島発ヘリコプターにて大島へ

セスナにて調布へ帰京

天候によって航路での移動になる時もあります。

PT派遣に向けた当科の取り組み

相談内容は、坂道の多い島内環境から生じる腰痛、膝痛への運動療法プログラムの指導作成や、在宅生活へのフォローと多様で、高齢者だけでなく、産後のお母さんを対象とした運動教室等の依頼もあり、年齢層も様々です。このため脳血管疾患、運動器疾患、介護予防、健康増進といったことに対応できる知識と経験が必要とされます。当科は、経験豊富なPTを中心に派遣の計画を立て情報共有しています。また、若手PTを派遣するための取り組みも行っています。

1、2年目では回復期病棟に配属し、脳血管疾患を中心に臨床指導を実施し、3年目以降に一般病棟に配属し整形外科疾患を中心に臨床指導を実施しています。装具作成、住宅改修、福祉機器の導入の経験と知識を身に着け、短い時間で対応できる力を

を養うため、高齢者身体機能測定会に派遣し、測定と結果説明また指導する経験も、島での活動に生かされています。

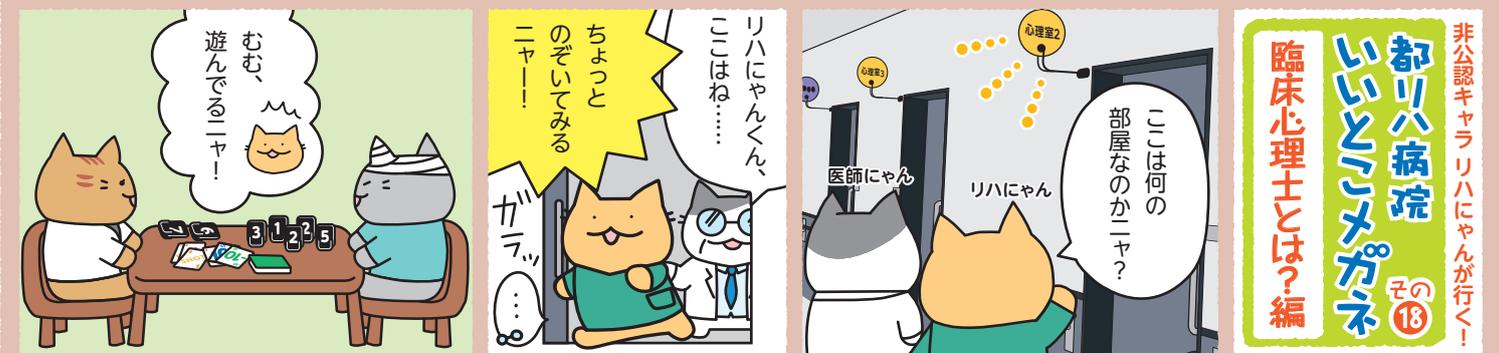
今後も継続的に、島民の方が住み慣れた場所で生き生きと暮らせるように、保健福祉医療スタッフと協力し、貢献していきたいと考えています。また、島しょ地域の人材不足における、他の離島においても必要とされる活動を、PT、OT、ST、とも協力していきたいと考えています。



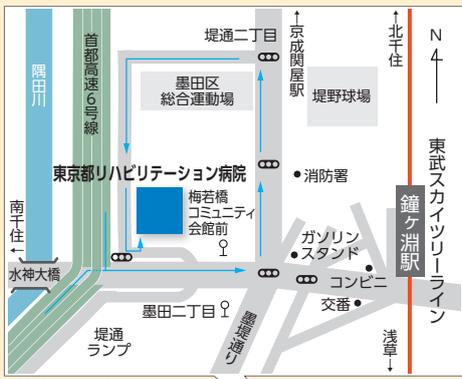
在宅でスタッフへ指導



遠くに三宅島が見えます



交通案内



南千住	都営バス	10分	梅若橋コミュニティ会館前	徒歩	2分	
錦糸町	都営バス	25分	墨田二丁目	徒歩	4分	
浅草	東京メトロ半蔵門線	12分	曳舟乗り換え	東武スカイツリーライン	10分	
亀戸	東武亀戸線	20分	曳舟乗り換え	鐘ヶ淵	徒歩	7分
北千住	東武スカイツリーライン	5分	鐘ヶ淵	徒歩	7分	
京成上野駅	京成本線	12分	京成関屋	徒歩	15分	

※東京都リハビリテーション病院は、東京都が設置し、公益社団法人 東京都医師会が指定管理者として運営を行っている病院です。



東京都リハビリテーション病院 広報委員会

〒131-0034 東京都墨田区堤通2-14-1
 TEL : 03-3616-8600 FAX : 03-3616-8705
<https://www.tokyo-reha.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

編集後記

すっかり寒い季節となりました。当院1階のコンビニショップでは暖かい中華まんの販売も始まり、冬の到来を感じております。挽き立てコーヒーとあわせて、休憩スペースでゆっくりするのもいいですね。

2022年1月1日(土)発行